



金属組織学・結晶学理論に基づいた金属材料の特性改善

篠原 百合（機械知能システム学専攻 准教授）

2024. **11.7**

金属材料の組織はナノ～ミクロンオーダーの結晶が組み合わさることで構成されています。この組織は塑性加工や熱処理により大きく変化し、材料特性に影響を及ぼします。今回は、金属組織学と結晶学理論の観点から組織設計を行い、材料の特性改善を行った事例をご紹介します。

研究分野

ナノテク・材料

keyword

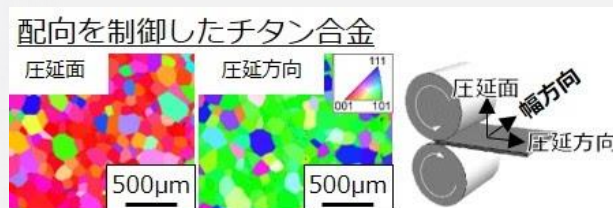
金属組織学, 結晶学, チタン合金, 形状記憶合金, マルテンサイト

対 象

電通大教職員、学生（オンライン開催）

参加申込

右側のQRコードのフォームからご登録ください。



配向を制御したチタン合金
生体用低ヤング率チタン合金の開発



(研究室web)



(参加申込)

COMPASS meetupは、学内研究者がどんな研究をしているのかを知る機会として、お昼休みに定期的に開催しています。本学の教職員・学生はどなたでも聴講可能です。気軽にご参加ください。

【お問い合わせ】

研究教育マネジメント推進室URA
compass@ura.uec.ac.jp